

SKY コーナー

「SKYフォーラム2015 in 関西」開催

～「きっちり工事運動」の向上を目指して～



情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

昨年11月19日、関西支部による「SKYフォーラム2015 in 関西」がNTT西日本研修センター（大阪市都島区）において開催されました（写真1～4）。

本フォーラムは会員各社が日常業務の中で安全性・効率性を目指し積極的に実施している「SKY運動」の成果を発表し、啓発・水平展開を図ることを目的としております。

開会にあたり、（一社）情報通信エンジニアリング協会 高江洲関西支部長より、「NTT様におかれては、フレッツ光も成熟期を迎え、この2月から光コラボレーションに転換され、それに伴い全国で200社を超えるコラボレーション事業者がサービスをしています。

従来は、NTT様の発注を受けて安全に効率的に仕事をしてまいりましたが、今後は色々な事業者との調整、要望を聞きながら工法改善、品質向上、コスト削減が一層求められることとなります。

SKY運動は改善活動ととらえた方がなじみやすく、今年1年間の提案活動は、関西エリアで提案件数31件、NTT様に採択されたものが3件でした。まだまだ多くの提案を出し、採択件数を増やすには日常的な提案活動を活性化させる必要があると思っています。改善活動には全社的な改善活動、チームでの改善活動、個人1人ひとりが日常の業務のなかで行う活動があります。

今日の発表では、チームによる活動の成果を披露いたします。

発表内容は、日常的に発生してい

る問題を現場目線でとらえたもので「真似る」ことができますので、さらに盛り上げていただきたい。

大変厳しい事業環境ではありますが、SKY運動を促進してNTT西日本様のご要望にお応えするとともに、この大会の盛会を祈念いたします。」との挨拶がありました（写真5）。

続いてNTT西日本 関西事業本部 川副設備部長様から「今年から光コラボサービスを開始し、アライアンス営業の方向に軸足を移しており、ミニマムで最高のサービスを提供することを目指しています。コストの面ではビジネスイーサの営業コストは25%、設備コストは75%ですが、設備コストを下げることがまさに利益に直結していくこととなります。



写真1 「SKYフォーラム2015 in 関西」会場
NTT西日本研修センター1F カンファレンスルーム



写真2 大会ご参加の皆様

お客様の納期を短くして、品質を高めていきたい。品質は安全の上に成り立っています。本日のSKYフォーラムのなかで我々が発表するのは、今年から安全パトロールのな

かに「称賛」、「誉めよう」という「称賛活動」を取り入れたところ、工事班の方に喜んでいただき、コミュニケーションがとれるようになり、整理整頓等の指摘が減ってきて結果的には事故が減っている。こうした活動を通して現場レベルでの安全とコスト削減がはかれるものと

思っています。本日の安全大会では、直近の事故体験も行っていますので、SKY大会が終わりましたら安全大会にも参加いただきたい」とのご挨拶（写真6）をいただいた後、本フォーラムが開始されました（写真7・8）。



写真3 会場入口



写真4 会場受付



写真5 ITEA・関西支部
高江洲支部長 開会挨拶



写真6 NTT西日本関西事業本部
川副設備部長様 来賓ご挨拶



写真7 傍聴の皆様



写真8 会員会社代表の皆様とご来賓代表

SKY表彰式

表1 平成27年度各社別提案件数

(単位：件)

協和エクシオ	ミライト・テクノロジーズ	日本コムシス	日本電通	ミライト	合計
16	6	4	2	3	31

年間最も多くのSKYの取組みを行った会社に対して「SKY表彰」を行いました。

平成26年10月から平成27年9月までの間でNTT様へのVE提案が16件と、5社の中で最多提案件数であった(株)協和エクシオ関西支店が高江洲支部長より表彰され表彰状と記念品が授与されました(表1・写真9)。



写真10 大会風景



写真9 SKY表彰 (株)協和エクシオ 関西支店



写真11 司会
(株)ミライト・テクノロジーズ
佐藤 智弥 氏

SKY発表会

各社でのSKY活動として最も優秀であったものについて、1テーマ選出し発表を行うとともに、NTTグループ様代表としてNTT西日本関西事業本部設備部様からも発表を行っていただきました(表2)。

関西事業本部設備部様の発表内容は、『「セーフティK」活動によるALL事故“ゼロ”に向けた取組み』で、安全パトロールのなかに「称賛活動」を取り入れたことにより、コミュニケーションがとれるようになり、事故の減少効果があったとの内容でありました。

その他の発表につきましても、安全作業意識の高揚等、素晴らしい内容で、施策の水平展開や今後の積極的なSKY活動への刺激にもなりました(写真10~14)。



写真12 発表会模様

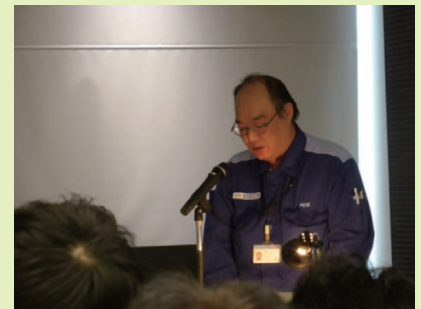


写真13 NTT西日本 関西事業本部
発表者 倉橋 信 様



写真14 高江洲支部長と発表者の皆様

表2 発表テーマ一覧

発表テーマ	発表会社名	発表者	PC操作者
★ネットワーク機器のOS入替え工事における安全確保	日本コムシス株式会社 関西支店	白河 篤	北村 浩平
★マンホールへの転落事故防止に向けた安全対策ツールの開発・活用について	株式会社ミライト 西日本支店	中西 広基	半田 武史
★安全パトロールの効率化	株式会社ミライト・テクノロジーズ	高薄 華子	今北 孝之
★ケーブル収容管補修技術（PITライニング工法）における更なる作業性の向上について【治具の製作】	株式会社協和エクシオ 関西支店	小田原 康平	嵯峨山 謙太
★アクセス保守の取組について	日本電通株式会社	田上 一行	安原 由晴
★「セーフティK」活動によるALL事故“ゼロ”に向けた取組み	西日本電信電話株式会社	倉橋 信	細谷 克彦

おわりに

発表終了後、高江洲支部長より発表各社の代表者に記念品が贈呈され、日本コムシス(株)増川 徹リーダーの発声で関西支部の安全スローガン「まず安全 工夫を活かそう 知恵と技 ヨシ!!」を全員で唱和(写真15)した後、主催者を代表してITEA 梶常務理事より「本日は

NTT西日本関西事業本部1件、通信建設各社より5件のSKY活動発表をしていただきました。来年のフォーラムに向けてさらなるSKY運動、VE提案、安全作業等をお願いしたい。下期に入りますが、引き続き事故“ゼロ”に向けて安全作業をお願いします」との挨拶(写真16)があり閉会しました。

今回の大会は、364名の参加で無

事終了することができました(表3)。

本大会に大変お忙しい中ご臨席くださいましたご来賓・NTTグループの皆様にご挨拶申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただきました関係各位に対して心から厚く御礼申し上げます。



写真15 スローガン唱和
日本コムシス(株) 増川 徹氏



写真16 梶常務理事の閉会挨拶

表3 大会概要

大会日時	平成27年11月19日 9:15~11:30	——	——
場 所	NTT西日本研修センタ1F (大阪市)	——	——
参 加 者	ご来賓・NTTグループ	27名	364名
	情報通信エンジニアリング*協会・会員会社	337名	